

建通新聞

東京

発行所 建通新聞社
首都圏本部東京支社
東京都港区新橋4-9-1
新橋プラザビル16階
〒105-0004 電話(03)5425-2070
多摩支局 電話(042)527-7291
<http://www.kentsu.co.jp/>

©建通新聞社 2015

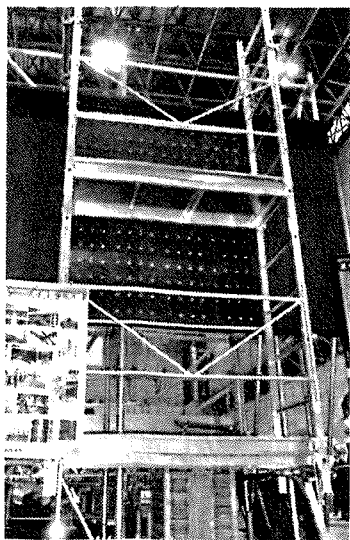
発行紙
神奈川/静岡/中部/大阪/岡山
香川/徳島/愛媛/高知

軽量型ジョイント足場「トビノス」を発売

日綜産業

日綜産業(中央区)は、軽量型ジョイント足場「トビノス」の販売を開始、11〜13日に幕張メッセで開催された鉄道技術展で発表した。

トビノスはアルミ製の



専用工具使わずに
簡単組み立て可能

鉄骨ジョイント用足場。2段足場での重さは約70キとスチール製の同社従来品に比べて約50%の軽量化を実現した。さらに、専用工具を使わずに簡単に組み立てることができるといふ。また、許容荷重が200キと十分な強

度を確保し、最大高さ8メートルまで対応可能。同社担当者は「吊治具(つりじぐ)もさまざまなタイプを用意している。建築、土木、橋梁などの現場で幅広く活用してもらいたい」と話した。

技術展ではこの他、トンネル内の点検作業などで採用の多い鉄道用簡易ユニット式軌道上足場「足場車」や、駅ホーム改良工事の際に床材として使用される多機能連結式覆工板「コネクションデッキ」のほか、先行床施工式フロア型システム足場「クイックデッキ」を出展した。

日刊建設産業新聞

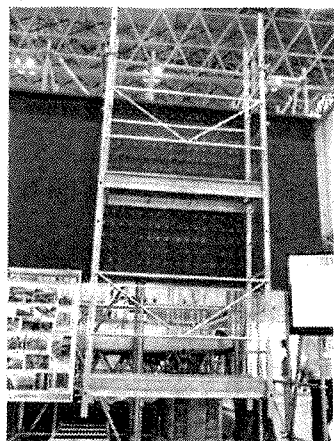
発行所
日刊建設産業新聞社
本社
〒173-8710 東京都板橋区板橋1-48-9
電話 03(3961)1691(代表)
ファクス 03(3961)2251
(<http://www.kensan-news.com/>)
支社
大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越
支局
埼玉、中部

© 日刊建設産業新聞社 2015

ジョイント足場「トビノス」

大幅軽量化も強度は確保

日綜産業



日綜産業(小野大社長)はきょう13日まで、千葉市の幕張メッセで開催されている鉄道技術展、橋

梁・トンネル技術展に初出展しており、同社主力製品のクイックデッキ、足馬車等の製品とともに

今年1月に完成した鉄骨ジョイント用足場「トビノス」の写真を一般公開した。

同製品は、メタル橋梁の桁接合用の足場として開発。鋼製の従来製品に比べてアルミ製としたことで重量が約半分と軽量化を実現した。2段(高さ4・9m)の足場で重量は約70kgとなった。また、アルミ製品でありながら肉厚にすることで十分な強度も確保。許容荷重は1・9kN(200kg)となっている。ハッチ付踏板、手摺棒・補助手摺、幅木などの専用部材を特殊な工具を使用せずにピンやレバーで

固定する仕組みのため組立てがスピーディー。さらに、直行丸角クランプや並行丸角クランプと様々な場面に対応する吊治具を取りそろえているもの特徴だ。また、組立て・設置後の外観は突起物が無い構造となっていることから、防護シート、ネットが綺麗に張れる。踏板は、容易に取扱いができる長さ1500mm幅600mm、左右に取り付ける梯子棒は高さ1400mmと2400mmを取りそろえており、最大3

段組みで高さ8mまで可能。全ての部材が軽量化が容易な大きさのため、宅急便等でも輸送が可能だ。当初は鋼橋のジョイント部の施工時に使用する足場としてユーザーのニーズに添えて開発したが、鉄骨造の建築物などが、建築に関わらず幅広く適用されており今年1月以来、既に30強の現場に納入している。次年度は増産も決定しており、汎用性を活かした展開が期待されている。

—わが国唯一の橋の専門紙—

橋梁新聞

発行所
橋梁新聞社

郵便振替口座 00150-2-48179
東京都台東区入谷1-6-6
〒110-0013 電話03(3876)1451
FAX03(3876)1458

第1262号

2015年 11月21日

(平成27年) 土曜日

昭和51年5月19日第三種郵便物認可
購読料/年間88,000円・半年46,000円(税別)

発行日 1・11・21日

発行兼編集人 澤田繁男
編集長 根津寿子

www.kyoryoshimbun.co.jp

鉄道技術／橋梁トンネル展

日綜産業「トビノス」

最軽量のジョイント足場

日綜産業は東京の幕張メッセで開催された橋梁・トンネル技術展で、世界最軽量のジョイント足場「トビノス」を初展示した。トビノスは今年1月から上市した製品で、すでに30もの現場で使用されている。

部材はアルミ製で軽量化を図り、高さ4・9m(足場2段)で約70kgとスチール製の従来品と比

べると約半分の重さ。専用床板(マンホール付)は専用手摺を使用し、簡単に組み立て、解体が可能だ。専用幅木も用意されており、外部に突起物がないため、シート、ネッ



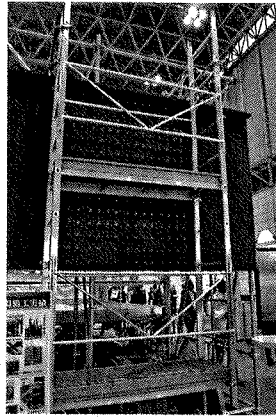
トビノス

トキぎれいに張ることができ、許容積載荷重は1層まで1・9kN(200kg)。

技術展で初披露

日
綜
産
業

軽仮設機材メーカーの日綜産業（社長・小野大氏）はこのほど、千葉市の幕張メッセで行われた鉄道・橋梁・トンネル技術展に初出展し、ジョイント足場、鉄道用簡易ユニット式軌道上足場を初披露した。



ジョイント足場「トビノス」

ジョイント足場「トビノス」はアルミ製で、従来品に比べて約半分の軽量化を実現。従来クランプと単管で組んでいた足場をシステム化し、専用工具不要で組立ができる。様々な

吊钩具もオプションにラインアップしており、突起物がない外觀で、シートやネットが綺麗に張れる。既に出荷は今年1月から始めており、これまでにメタル橋のボルト工事など30現場



鉄道用簡易ユニット式軌道上足場「足場車」

に納入している。今後は、各種橋梁工事や護岸工事、オフィスビル建築などでの拡販を図る。

鉄道用簡易ユニット式軌道上足場「足場車」は、鉄道用トンネルの回収・点検工事に使用される。最大作業床高さは4300mmで、100mmピッチで調整可能。上下機能も人力のウインチを採用している。レール直角方向の作業床は3千mmまで拡張可能で、

架線をかわして作業床を上げるひな壇拡張もできる。標準、トンネル、跨線橋バージョンがあり、今回の展示会で、線橋の各バージョンが、出展。多くの来場者の関心を誘った。

Metal & Technology
鉄鋼新聞
11月20日
2015年
(平成27年)
金曜日
第18474号(日干)
刊
日曜・祝日は休刊